

(様式第1号)

令和3年度 第1回芦屋市環境審議会 会議録

日 時	令和3年11月16日(火) 14:00~16:00
場 所	芦屋市役所北館4階 教育委員会室
出席者	会 長 久 隆 浩 副 会 長 秋 本 久 美 子 委 員 市 橋 純 子 委 員 井 上 界 委 員 井 上 尚 之 委 員 近 藤 博 幸 委 員 天 王 寺 谷 祥 一 委 員 長 城 紀 道 委 員 西 本 恵 委 員 美 濃 伸 之 委 員 松 木 義 昭 委 員 青 山 暁 事 務 局 森 田 昭 弘 事 務 局 富 松 正 貴 事 務 局 岡 本 祐 子 事 務 局 中 田 博 己 行 政 職 員 藪 田 循 一 行 政 職 員 柴 田 陽 子 行 政 職 員 長 良 晶 子
事 務 局	環 境 課
会議の公開	■ 公 開
傍聴者数	0 名

1 会議次第

- (1) 開 会
- (2) 委員及び行政職員の紹介
- (3) 会 議
 - 1) 委員出席状況の報告
 - 2) 署名委員の指名
 - 3) 議 事

<報告事項>

- ① 第3次芦屋市環境計画の令和2年度進捗状況及び自己評価結果について
- ② 第4次芦屋市環境保全率先実行計画の結果について

(4) その他

(5) 閉 会

2 提出資料

会議次第

芦屋市環境審議会 委員名簿

議題①資料1「第3次芦屋市環境計画実績及び自己評価報告書（令和2年度）」

議題①資料2 評価採点表（集計結果）

議題②資料1「第4次芦屋市環境保全率先実行計画の結果について」

3 会議経過

開 会

事務局より開会挨拶及び提出資料確認

委員及び行政職員紹介

森田部長あいさつ

会 議

(1) 委員出席状況の報告

事務局より、定数12名中、12名の出席につき会議成立と報告。

(2) 署名委員の指名

芦屋市環境審議会規則第5条の2第2項に基づき、久会長より井上尚之委員及び近藤委員を署名委員に指名。

(3) 会議の公開・非公開の決定

出席委員の全会一致により公開を決定。また、会議録についても公開を決定。

また、この時点で傍聴希望者はなし。

議 事

①第3次芦屋市環境計画の令和2年度進捗状況及び自己評価結果について

(久会長)

「事務局より説明をお願いします。」

(事務局より資料説明)

(久会長)

基本目標ごとに審議会の評価を決めていく。

<基本目標①>

審議会の評価○

内訳

◎1

○5

●2

▲0

コメント数（評価できる点 7，今後の課題点 7）

（久会長）

審議会の評価を決めていきたいのですが、その前に既にいただいているコメントは資料に記載しております。このコメントについて追加、修正、協調したいことがありましたらご発言をお願いします。

審議会でのコメントも評価報告書に記入することになっておりますが、皆さんの意見をうまく集約しながら私と事務局の方で、お話しさせていただいて決めるといくことでよろしいでしょうか。（一同異議なし）

それではそのように進めていきます。それでは審議会の評価を決めるのですが、皆さんの評価は○が一番多くなっており、担当課の評価と幹事会の評価も○となっております。

審議会の評価も、最も多い評価である○でよろしいでしょうか。

（一同異議なし）

それでは○とさせていただきます。

<基本目標②>

審議会の評価●

内訳

◎0

○3

●5

▲0

コメント数（評価できる点 5，今後の課題点 6）

（久会長）

まずは、コメントについて追加、修正がありましたらご発言をお願いします。他市と比べるとこのあたりのことは、芦屋市は頑張っていると私は思います。やはり芦屋市の皆さんの環境に対するニーズの高さがあり、あるいは残っている問題はなかなか解決へ向けて努力しても結果が出にくいものです。騒音や自動車由来の大気の問題ということですので、改善へ向けて引き続き頑張っていたきたいです。

それでは審議会の評価を決めるのですが、皆さんの評価は○と●があり、若干●の方が多くなっております。担当課の評価と幹事会の評価も●となっております。

審議会の評価も、●でよろしいでしょうか。

(一同異議なし)

それでは●とさせていただきます。

<基本目標③>

審議会の評価○

内訳

◎2

○5

●1

▲0

コメント数 (評価できる点 7, 今後の課題点 6)

(久会長)

まずは、コメントについて追加、修正等ありますでしょうか。

(美濃委員)

オープンガーデンをしっかりとされているのが素晴らしいと思いました。アウトドアのイベントですので、コロナの感染対策しながら引き続きしていただきたいと思います。

(久会長)

どうしても街並みという観点でいうと、建物の並びというのが思い起こされるのですが、こういう市民の方々の新しい取り組みがあつて、花を添えていただいているのが非常にいいと思います。世界中でプレイスメイキングといって公共空間を使って楽しいイベントをするような時代にも入っていますので、芦屋もこういう形で市民とともに楽しい取り組みの中から街並みにつながるようなことをしていただければいいと思います。

それでは審議会の評価を決めるのですが、皆さんの評価で最も多いのが○となっております。担当課の評価と幹事会の評価も○となっております。

審議会の評価も、○でよろしいでしょうか。

(一同異議なし)

それでは○とさせていただきます。

<基本目標④>

審議会の評価○

内訳

◎2

○3

●3

▲0

コメント数（評価できる点 6, 今後の課題点 6）

（久会長）

まずは、コメントについて追加、修正等ありますでしょうか。皆さんの評価で○が 3, ●が 3 となっております。私の推測ですと、市役所を中心に様々な取り組みを評価されると○になるのかなと思うのですが、その成果としての例えば二酸化炭素の低減ということになってくると、本当にその効果が出ているのか、そのあたりを評価すると●になるのかなと思います。

（井上尚之委員）

私は、2 番目のコメントを書いたのですが、太陽光発電システムの新たな設置は評価できます。今後の課題点として、太陽光パネルの設置によって、例えば火力発電に比べて、どれだけ CO₂ が減ったか明示していただけると市民の方からも評価いただけると思います。評価としては、もちろん設置によって CO₂ が減っているのは確実ですので、◎が 2, ○が 3, ●が 3 で、結局○以上が 6 つあるので、結論としては○になると思うのですが、言いたいことは 2 つあって、ここは○でいいと、それでせっかく太陽光発電システムを設置されたので、火力発電に比べて、どれだけ CO₂ が減ったか明示していただけると有難いと思います。

（久会長）

発電の方法を変えたことによって、どれだけ二酸化炭素が削減されたかという換算をしていますかということですね。

（事務局）

太陽光発電により CO₂ がどれだけ削減されたかは、各施設での太陽光由来の発電量から計算をすれば出るかと思いますが、太陽光パネルの設置により市の施設全体で CO₂ がどれだけ削減されたかは見える形では示していないと思います。

今のところお示ししているものとしては、太陽光に限定したものでないのですが、率先実行計画の中で、市の施設全体での年間の温室効果ガス排出量を算出しております。

（井上尚之委員）

太陽光パネルの設置により、どれだけ CO₂ が減ったかというのを市民に見せることで、市民の皆さまのご理解を得ることにつながると思うので、そのあたりをもう少し示した方がいいと思います。

（久会長）

今年度以降にそのあたりを宿題としていただいっておくという形となるかと思います。

(青山委員)

私も今後の課題点として4番目のコメントの温暖化施策の見える化をと書かせていただきました。この見える化には2つありまして、広報としての見える化と効果の見える化です。広報としては、この新しい太陽光パネルの設置というのをもっと広く市民の方にこういう施策をしているというのを見せるというのが広報としての見える化で、そして先ほど井上尚之委員がおっしゃられたように、まさにその効果、だからみんなで頑張ろうということを知りやすくしないとなかなか市民の方にはわかりにくいというがあるので、是非ごみの減量化と一緒にしっかりと市民の皆さんにできる限りリアルに見えるようなことを考えていただければと思います。

(松木委員)

石炭火力発電の廃止、風力・太陽光発電システムの導入というのを書いたのは私ですが、COP26で世界から日本は石炭火力発電をやめる気がないのではないかと、そういうような見方をされたのですが、口では色々言っているのですけれども、日本が一番後ろ向きというかそういう状況ははっきりしてきて、もちろん色々な理由があり、産業界より電気代が高くなり製品価格が高くなるといったことなどあると思います。しかし、産業革命時よりも1.5℃温度が高くなっている、それを避けないといけないというところまできているので、こういうことをどんどん訴えることで、芦屋市だけでできることではないけれども、日本国内でもCO₂削減というのが盛り上がっている時期ですので、太陽光発電というものを、幸いなことに公共施設も多くあり、だいたい屋根が陸屋根になっているので、設置しようと思えばできると思うので、そのあたりをもっと気にしていただきたいと思います。そうしないと地球の温暖化は止められない、いつの間にか南極の氷がなくなって、北極の氷もなくなるような状況で、ツバルのような島国は海水が高くなってなくなってしまふ、そういう状況ですので、もっと危機感を皆が共有すべきだと思います。

(久会長)

いかに見える化をしていくかということなのですが、ちなみに国の政策によるところもあるのですが、一つ情報提供させていただくと、生駒市が生駒市民パワー株式会社というのをつくられました。生駒市の今の市長がもともと環境省の役人だった方で、環境政策に非常に造詣が深いということもあって、その市長のもとそういった会社をつくられた。市橋委員のコープさんがコープ電気、コープガスが販売されておりますけれども、同じように生駒市民パワー株式会社が発電、電力を買う、それを販売するといったことをしています。できるだけ市民も生駒市民パワーから電力を買ってくださいといったこと、それから太陽光パネルから発電された電気をここが買い取ってくれるといった仕組みになっています。さらに電力会社に入った収益でコミュニティ活動を支援していくといったことをしていて、お金が地域を回っていくといった仕組みとなっていて、一つの市でもこれだけ総合的な施策でいけばかなりインパクトのあることとなりますし、生駒市民パワーが電力を買うということは、自分の屋根でつくった電力を売るということで市民も参加できて、非常にユニークな取り組みですので、規模的には芦屋市とよく似ていると思いますので、また参考にしていただければと思います。

それでは先ほど井上委員がまとめていただきましたように審議会の評価も○でよろしいでしょうか。

(一同異議なし)

それでは〇とさせていただきます。

<基本目標⑤>

審議会の評価●

内訳

◎1

○3

●4

▲0

コメント数（評価できる点 4, 今後の課題点 5）

(久会長)

まずは、コメントについて追加、修正等ありますでしょうか。

(井上尚之委員)

私は廃棄物減量等委員会の委員もしております、今後の課題点の一番上に書かせていただいたのですが、けれども、自治会で資源ごみを回収しているのですが、協力者が少ないというのがあって、要するに自治会に入っていない人が多いです。賃貸住宅の方はあまり自治会に入らないらしいです。自治会で資源ごみを回収しているのですが、集まりにくいといったお話が出ていました。自治会が、回収した資源ごみを業者に渡して資金を得ていて、資源ごみの回収をもっと広く宣伝してほしいという意見が出ていました。したがって、ここでも言わせていただきますが、自治会でも資源ごみを回収しているので、その協力を広報していただければ有難いです。

(久会長)

芦屋市は自治会が中心に資源ごみ回収をされているのでしょうか。

(環境施設課 藪田課長)

環境施設課の方で資源ごみ回収をしているのですが、自治会、管理組合、子ども会など、そういった10世帯以上集まったグループを対象に行っております。やはり多いのは自治会単位なのですが、令和3年2月から3月にかけて市民アンケートを行ったのですが、そこでも3割弱の市民の方が集団回収をしていないというのがあって、その3割弱の集団回収をしていない方に、その理由を聞くと自治会を知らないという回答が半数以上ありました。自治会の活動が弱まっているというのも一つの原因かと思うので、我々の方でもできるだけそういうところを手伝わせてもらって、こういう活動を広めていけたらと考えております。

(長城委員)

私も岩園町の自治会の立ち上げから関わらせてもらって、継続的に活動にも参加させてもらっているのですが、自治会の組織率が上がらない原因の一つとして、区分建物、マンションに住んでいる方が入らないというのが現場の自治会の悩みでして、新しい戸建てに引っ越しされてきた方はわりと自治会に入ってくれて活動にも参加していただいていますし、資源ごみの回収にも積極的に対応していただいているのですが、なかなかマンション、集合住宅は難しいという課題も聞いておりますので、こういうのも取り組み方の一つの切り口だと考えられるのではないかと思います。

(久会長)

なぜ芦屋市は自治会が中心ですかと聞いたのは、私は茨木市民なのですが、茨木市は子ども会の方が多いです。子ども会が集めてくださると、子どもと親が中心に集めますので、そういった意味では若い世代が参加する意識が上がってきます。それから、マンションの方が、収集ステーションがありますから、そちらの方が実はやりやすいです。必ずしも自治会が一丸としてするよりも、いろんな団体がもう少し小さい単位でされた方が、資源回収という意味では効果的かと思います。そういった意味では、先ほど自治会単位でなくてもいいですよとご説明いただきましたので、いかに今の時代に合った効果的、効率的な収集の仕方を市民の方と一緒に考えていければと思います。

それでは審議会の評価を決めるのですが、◎が1、○が3、●が4となっております、皆さんの評価で最も多いのが●となっております。

審議会の評価も、●でよろしいでしょうか。

(一同異議なし)

それでは●とさせていただきます。

<全体を通しての意見>

(久会長)

基本目標はこれですべて終わりましたが、他に全体を通して何か意見はありますか。

(松木委員)

市民一人あたり一日のごみの排出量は、県内で芦屋市が一番多いです。それをどうやって減らすかが課題なのですが、幸いなことに芦屋市もごみを出すときのごみ袋を有料化しようという話も出ていて、それはまだはっきりといつから実施するかは決まっていないのですが、早いところごみ袋有料化でごみの減量化に努めるということが必要だと思いますが、そのあたり行政として答えられるのであれば、お聞きしたいと思いますかどうか。

(環境施設課 藪田課長)

ごみの減量についてですが、近年はコロナの影響もありまして、確かにごみの量は減ったりしております。ただ、コロナになってからごみの内訳が大きく変動しておりまして、燃やすごみは少しずつ減ってはいるのですが、資源ごみが非常に増えているとか、事業ごみは非常に大きく下がっているとか、とい

うのがあってトータルでは減ってはいっていますが、県内で比べると芦屋市は平均より多いということで我々としても課題として認識しております。その課題の解決の方法として先ほど松木委員からもおっしゃっていただきましたけれども、指定ごみ袋を導入しようということで進めております。これは、ごみの減量や分別の徹底、これをさらに進めようということで、今何気にごみを出していただいている市民の皆様一人一人にごみの出し方を意識してもらおうということで進めております。先ほどごみ袋の有料化といったことをおっしゃっていただいていたのですけれども、今の検討の中では有料化まではしないと、市場価格で販売といったところまで考えています。時期については、まだ案の段階ですが、令和5年度に入りましたら試行期間をスタートして、そこで課題を拾って、本格実施へ向けて進めていきたいと考えております。

(西本委員)

前回の審議会で、活発に意見が交わされたところで、この評価の仕方が4つに分かれているのは単純すぎるのではないかという意見や、各課が目標を掲げてその目標についてどのくらい達成できたか、その達成度で評価したらどうかというご意見が出たのですが、今回もその評価の仕方が変わっていないように思うのですがどうでしょうか。

(事務局)

前回にご意見をいただいて、今回変えております。前は3段階で●がなかったのが、今回は4段階としています。前は「現状維持」と「やや進んでいる」を同じにしてしまっていたのを、●を追加して、「現状維持」と「やや進んでいる」を分けています。それと前は◎の数で総合評価をつけてしまっていて、それだとほとんどBやCになってしまうので、今回は◎が2個以上でA、○が2個以上でB、●が2個以上でC、それ以外はDとしています。少しわかりにくいかもしれませんが、このように変更しています。

(久会長)

ぱっと見てわからないかもしれないですけども、かなり色々ときめ細やかな評価ができるようにしています。

(市橋委員)

ご存じでないかもしれませんが、亀岡市でプラごみゼロ運動をしております、遠い目標ではあるかもしれないのですが、こういった議論があるのかどうか教えていただけますでしょうか。

(環境施設課 藪田課長)

亀岡市でのプラごみゼロ運動は知らなかったのですが、こちらの方では現在はそういったプラスチックごみを集める場所や処理する施設も持ってないので、プラスチックごみも焼却炉で燃やしており、それによってCO₂が多く出ています。現在は施設が老朽化しております、施設の更新、建て替えていくという計画がありまして、それに合わせて、プラスチックごみをどうするか検討していくことを考えてい

ます。やはりプラスチックを分別した際、燃やさなくても一旦下ろす場所であったり、異物が入っていたらそれを分けたり、ある程度こん包して大きいトラックに載せて最終処理するところへ運搬するのですけれども、やはり芦屋市ではある程度施設を持たないといけないので、現在施設がない、スペースがないというのがありますけれども、建て替えに合わせて考えていこうとしております。国の方では今までは容器包装プラスチックごみが主流だったのですが、製品プラスチックごみも容器包装プラスチックごみと合わせて処理していくという法律が今年6月に成立し、現在は国の方で施行令を検討し、今年11月7日頃までパブリックコメントを実施しているようで、これから国から市に情報提供あるので、今こんなことをしようと思っているというのはないのですが、そういう検討段階に入ったという状況です。

(久会長)

先ほど生駒市のこと楽しくという話をしたのですが、頑張るという意識になればしんどくなってくるので、もっと楽しくみんなで活動ができないだろうかというのがあります。生駒市はコミステという取り組みをしまして、分別回収の日を決めて、地域の方が集会所に集まってくるので、単にごみを持ってきて帰るのでなくて、コーヒーを飲んで話をする、あるいは、そこでJAさんの野菜を買えるようにする、そういう楽しく分別回収できるというのを地域で広めていこうというので、今は萩の台住宅地というニュータウンから始まっているのですけれども、子どもさんが集まってきて、そういう取り組みをしています。芦屋もコミュニティ強いですから、そういう楽しくごみを分別回収しごみの削減につながるようなコミュニティがらみの楽しい行事もやっていただければと思います。

(市橋委員)

生ごみも燃やすとCO₂が出ます。三田市とシルバー人材センターが、竹パウダーをコンポストにしてそれを土に使うといったことをしています。これは宣伝になるのですが、11月21日(日)に宮塚公園で竹パウダーコンポストの講習会がありますので、もしよかったら来ていただけたらと思います。

(久会長)

この10年ほど岸和田の山手の方の繁茂する竹をどうするかというところで、農家の方が多くて、竹を伐採していただいて、竹の一部は和歌山が近いので、和歌山アドベンチャーワールドのパンダの食料にします。それだけではまだ竹が余るので、市役所も入っていただいて竹パウダーのコンポストにしようというようになっている。そういった意味では芦屋の山手の方も竹の繁茂というのがあるので、そういったものをうまく組み合わせていけば、色んな問題が解決の方向へ向かうのかなと思います。環境への意識が高い人はすでに活動をしているが、そういった活動を全市民にどう広げていくのが今後の課題であると思います。

他にないでしょうか。

それでは、報告事項の1つ目はこれで終わりとさせていただいて、報告事項2つ目へ進みます。

② 第4次芦屋市環境保全率先実行計画の結果について

(久会長)

「事務局より説明をお願いします。」

(事務局より資料説明)

(長城委員)

電力使用量もガス使用量も、他の施設は減少傾向ですが、本庁舎等では前年度比より漸増しているのは庁舎が増えたとか何かそういった理由がありますか。

(事務局)

分庁舎と消防庁舎が新しくできたことによるもので、トータルの使用量では増えていますが、延べ床面積で割ると下がっています。

(久会長)

機器を更新して値がぐっと下がったのは令和元年度でしょうか。

(事務局)

新しい設備の導入の際は省エネタイプの機器を入れていますので、延べ床面積で割ると下がったのは、そのあたりが要因かと思います。

(久会長)

初期費用はかかりますが、機器をうまく更新することでエネルギー削減につながります。私は明石市のコミュニティ創造協会の理事もしております、JR明石駅前の市民活動センターと生涯学習センターの施設の指定管理をしているのですが、令和2年度に機器を入れることで年間30万円以上の削減になりました。今までの古い機器がこれだけエネルギーを使っていたということがわかりましたので、古いものはできるだけ早急に交換していただくのが環境にやさしくていいと思います。予算については財政課とのやり取りがあると思いますが、環境を良くするよう頑張っていたらと思います。

(事務局)

必要などころには予算がつくようにしているはずです。

(久会長)

人間のダイエットと同じなのですが、そこそ頑張ると次がしんどいとなるので、今後どのような目標を立てるかというところを、これだけ効果が出ていますので、ここからまた一緒に考えていけたらいいかと思います。他に何かありますでしょうか。

以上で本日の議題は終わりましたので、事務局から連絡事項をお願いいたします。

(事務局)

今回、基本目標①～⑤の審議会の評価を決めていただきましたので、総合評価について確認します。

<基本目標①>

総合評価 B

内訳

担当課の評価○

幹事会の評価○

審議会の評価○

<基本目標②>

総合評価 C

内訳

担当課の評価●

幹事会の評価●

審議会の評価●

<基本目標③>

総合評価 B

内訳

担当課の評価○

幹事会の評価○

審議会の評価○

<基本目標④>

総合評価 B

内訳

担当課の評価○

幹事会の評価○

審議会の評価○

<基本目標⑤>

総合評価 C

内訳

担当課の評価●

幹事会の評価●

審議会の評価●

(事務局)

審議会のコメント欄の評価できる点、今後の課題点については、いただいたものをまとめまして、久会長に諮らせていただいて、ホームページにて公表します。

(閉会)

以 上